

標 題	農林大学校生と浜田地方農業士との交流会を開催！
-----	-------------------------

(ダイジェスト)

12月2日に浜田市弥栄町にて農林大学校生と農業士との交流会を開催しました。農業士のほ場の視察や就農体験談を聴くだけでなく、農林大生が抱えている就農への不安や疑問に対し農業士より親身なアドバイスを受ける場となり、とても有意義な交流会になりました。

浜田地方農業士会は現在、指導農業士17名、青年農業士1名の計18名が在籍しています。各会員は新たな担い手の確保・育成に向け、研修生の受け入れや地元の学校と連携した体験学習に取り組んでいます。また会全体の活動として、管内の農業研修生及び新規就農者を対象とした交流会を開催するなど地域農業の活性化・発展に向けた活動を行っています。

昨年度の農林大学校の学生との交流会が好評でしたので、今年度は場所と時期を変えて浜田市弥栄町にて12月2日（金）に交流会を開催しました。当日は管内出身及び管内に関心を持つ学生が6名、新規就農者2名、農業研修生1名、農業志向者1名、農業士7名のほか関係機関が参加し、計24名の出席がありました。

交流会前半の部では、弥栄町内の指導農業士のほ場を視察しました。そこでまず、指導農業士より就農までの経緯や現在の経営概要、地域との関わりや企業理念等について説明を受けました。続いて、ここで新規に雇用就農された方と、農林大の短期養成コース在籍で現地研修中の方のお二人より、就農や研修に至る経緯や現在の状況を話していただきました。その後、露地や施設ほ場を案内していただきました。小雪がちらつく中、農林大生達は説明を熱心に聞き入っていました。

会場を変えた後半の意見交換会では、まず経験談報告として、研修生の受け入れを行っている指導農業士と、親元で就農し経営継承中の新規就農者のお二人よりご自身の就農までの経緯、就農後の気持ちの変化、農業への思いなどを話していただきました。

その後に2班に分かれて意見交換を行いました。まず農林大生や農業研修生から就農への期待や不安、就農に関する様々な疑問などについて話してもらい、農業士からアドバイスをする形で進めました。各農業士より自身の経験を踏まえた丁寧なアドバイスをもらった農林大生達は、自分たちの今後を考える上で良いヒントをもらったようでした。農業士からは農林大生達の話聞くことで自分自身の振り返りにもなったという意見もあり、双方にとって有意義な交流会になりました。

農業振興部では、新たな担い手の確保・育成には農業の最前線で活躍する農業士との協力関係が不可欠と考え、関係機関と共に引き続き農業士への活動を支援していきます。



ほ場視察



意見交換会